

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 山形県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	中央病院	2	白鷹町	白鷹町立病院	20
-	新庄病院	3	北村山公立病院組合	北村山公立病院	21
-	河北病院	4	置賜広域病院企業団	公立置賜総合病院	22
-	こころの医療センター	5	置賜広域病院企業団	公立置賜長井病院	23
-	旧日本海病院	6	置賜広域病院企業団	公立置賜南陽病院	24
山形市	市立病院済生館	7			
米沢市	米沢市立病院	8			
鶴岡市	荘内病院	9			
鶴岡市	湯田川温泉リハビリテーション病院	10			
酒田市	八幡病院	11			
寒河江市	市立病院	12			
天童市	天童市民病院	13			
西川町	町立病院	14			
朝日町	町立病院	15			
最上町	町立最上病院	16			
真室川町	町立真室川病院	17			
高島町	公立高島病院	18			
小国町	町立病院	19			

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名					
病院名		中央病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	63,265 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	34	指定病院の状況	救臨が感へ災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	607	68.3	67.6	66.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	30.1	50.0	61.0
計	609	68.2	67.5	66.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	10.4	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	1,068,027	
決算規模(千円)	701,825,691	
標準財政規模(千円)	330,051,143	
財政力指数	0.35964	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	217.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,004,977			
1 経常収益	25,981,693			
(1) 医業収益	20,123,260			
(うち修正医業収益)	19,544,663			
入院収益	13,448,800			
外来収益	5,663,603			
診療収入計	19,112,403			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	1,010,857			
(うち他会計負担金)	578,597			
(2) 医業外収益	5,858,433			
(うち国・都道府県補助金)	2,803,540			
(うち他会計補助・負担金)	2,113,742			
(うち長期前受金戻入)	831,519			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	23,284			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	24,272,343			
2 経常費用	24,253,281			
(1) 医業費用	22,997,758			
職員給与費	11,592,765	57.6	59.4	52.8
材料費	6,517,432	32.4	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,552,282	17.7	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,859,620	14.2	11.8	13.9
減価償却費	1,293,201	6.4	8.7	7.7
経費	3,425,459	17.0	22.1	18.0
(うち委託料)	1,137,180	5.7	11.7	10.7
研究研修費	151,516			
資産減耗費	17,385			
(2) 医業外費用	1,255,523			
(うち支払利息)	220,415	1.1	1.0	0.9
(3) 特別損失	19,062			
損益	1,728,412			
純損益	1,732,634			
累積欠損金	10,471,458			
経常収支比率	107.1		103.3	102.8
医業収支比率	87.5		85.5	90.3
修正医業収支比率	85.0		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	10.4		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	13.4		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	10.4		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	96.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	54,229,188
1 固定資産	44,787,268
(1) 有形固定資産	42,056,890
(2) 無形固定資産	11,107
(3) 投資その他の資産	2,719,271
2 流動資産	9,441,920
(1) 現金及び預金	2,101,589
(2) 未収金及び未収収益	7,198,261
(3) 貸倒引当金()	27,337
(4) 貯蔵品	129,147
3 繰延資産	-
負債合計	65,446,655
1 固定負債	44,879,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,964,827
(2) その他の企業債	150,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,134,291
(6) 引当金	11,604,831
(7) 一ス債務	25,482
2 流動負債	15,263,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,753,124
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,379,215
(6) リ一ス債務	16,275
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,839,045
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,304,182
(1) 長期前受金	37,203,153
(2) 長期前受金収益化累計額()	31,898,971
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-11,217,467
1 資本金	24,193,384
2 剰余金	-35,410,851
(1) 資本剰余金	79,438
(2) 利益剰余金	-35,490,289
負債・資本合計	54,229,188
不良債務	2,067,998
実質資金不足額	2,067,998
資本不足額()	11,217,467
資本不足額(繰延収益控除後)()	5,913,285
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	2,719,540	2,692,339
資本勘定繰入	1,485,943	1,485,943
計	4,205,483	4,178,282

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	2,067,998	6.4
令和3年度	3,147,882	10.0
令和2年度	4,337,838	14.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	110.3
健全化法上の資金不足額(千円)	2,067,999
健全化法上の資金不足比率(%)	6.4
地財法上の資金不足額(千円)	2,217,999
地財法上の資金不足比率(%)	6.8

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名					
病院名		新庄病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透Ⅰ 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院			
建物面積	25,554 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	21	指定病院の状況	救臨が感へ災 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上～500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	452	55.8	60.6	56.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	2	38.6	30.5	48.1
計	454	55.7	60.4	56.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.0	14.2	14.7

設立団体の状況	
人口(人)	1,068,027
決算規模(千円)	701,825,691
標準財政規模(千円)	330,051,143
財政力指数	0.35964
経常収支比率(%)	94.4
健全化 判断比率	実質赤字比率(%) 連結実質赤字比率(%) 実質公債費比率(%) 将来負担比率(%)
	- - 12.3 217.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	9,981,676			
1 経常収益	9,948,340			
(1) 医業収益	7,787,465			
(うち修正医業収益)	7,520,256			
入院収益	4,826,530			
外来収益	2,482,846			
診療収入計	7,309,376			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	478,089			
(うち他会計負担金)	267,209			
(2) 医業外収益	2,160,875			
(うち国・都道府県補助金)	1,120,032			
(うち他会計補助・負担金)	739,079			
(うち長期前受金戻入)	277,362			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	33,336			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,520,858			
2 経常費用	9,304,031			
(1) 医業費用	8,963,161			
職員給与費	5,177,096	66.5	59.4	57.2
材料費	1,830,647	23.5	26.1	28.0
(うち薬品費)	943,067	12.1	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	830,919	10.7	11.8	12.7
減価償却費	448,641	5.8	8.7	8.0
経費	1,446,375	18.6	22.1	19.0
(うち委託料)	404,045	5.2	11.7	10.0
研究研修費	45,423			
資産減耗費	14,979			
(2) 医業外費用	340,870			
(うち支払利息)	1,228	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	216,827			
経常損益	644,309			
純損益	460,818			
累積欠損金	7,450,208			
経常収支比率	106.9		103.3	103.2
医業収支比率	86.9		85.5	88.6
修正医業収支比率	83.9		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	10.1		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.9		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	10.1		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	96.1		91.9	93.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	54,229,188
1 固定資産	44,787,268
(1) 有形固定資産	42,056,890
(2) 無形固定資産	11,107
(3) 投資その他の資産	2,719,271
2 流動資産	9,441,920
(1) 現金及び預金	2,101,589
(2) 未収金及び未収収益	7,198,261
(3) 貸倒引当金()	27,337
(4) 貯蔵品	129,147
3 繰延資産	-
負債合計	65,446,655
1 固定負債	44,879,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,964,827
(2) その他の企業債	150,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,134,291
(6) 引当金	11,604,831
(7) 一ス債務	25,482
2 流動負債	15,263,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,753,124
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,379,215
(6) リ一ス債務	16,275
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,839,045
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,304,182
(1) 長期前受金	37,203,153
(2) 長期前受金収益化累計額()	31,898,971
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-11,217,467
1 資本金	24,193,384
2 剰余金	-35,410,851
(1) 資本剰余金	79,438
(2) 利益剰余金	-35,490,289
負債・資本合計	54,229,188
不良債務	2,067,998
実質資金不足額	2,067,998
資本不足額()	11,217,467
資本不足額(繰延収益控除後)()	5,913,285
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,012,181	1,006,288
資本勘定繰入	286,865	286,865
計	1,299,046	1,293,153

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	2,067,998	6.4
令和3年度	3,147,882	10.0
令和2年度	4,337,838	14.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	110.3
健全化法上の資金不足額(千円)	2,067,999
健全化法上の資金不足比率(%)	6.4
地財法上の資金不足額(千円)	2,217,999
地財法上の資金不足比率(%)	6.8

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名 山形県	
市町村・組合名					
病院名	河北病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	17,981 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	15	指定病院の状況	救臨感 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	130	54.3	52.9	64.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	37.5	18.4	-
計	136	53.5	51.3	61.3
平均在院日数(一般病床のみ)		16.2	16.6	16.6

設立団体の状況		
人口(人)	1,068,027	
決算規模(千円)	701,825,691	
標準財政規模(千円)	330,051,143	
財政力指数	0.35964	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	217.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,739,453			
1 経常収益	3,738,486			
(1) 医業収益	2,316,707			
(うち修正医業収益)	2,050,023			
入院収益	1,193,743			
外来収益	817,882			
診療収入計	2,011,625			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	305,082			
(うち他会計負担金)	266,684			
(2) 医業外収益	1,421,779			
(うち国・都道府県補助金)	493,719			
(うち他会計補助・負担金)	726,217			
(うち長期前受金戻入)	200,077			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	967			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,914,464			
2 経常費用	3,909,270			
(1) 医業費用	3,781,501			
職員給与費	2,271,908	98.1	59.4	67.0
材料費	345,812	14.9	26.1	18.2
(うち薬品費)	161,374	7.0	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	184,261	8.0	11.8	9.4
減価償却費	328,712	14.2	8.7	10.2
経費	791,486	34.2	22.1	28.8
(うち委託料)	306,750	13.2	11.7	13.2
研究研修費	21,134			
資産減耗費	22,449			
(2) 医業外費用	127,769			
(うち支払利息)	1,795	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	5,194			
損益	-170,784			
純損益	-175,011			
累積欠損金	14,236,703			
経常収支比率	95.6		103.3	104.5
医業収支比率	61.3		85.5	80.1
修正医業収支比率	54.2		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	26.6		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	42.9		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	26.6		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	70.2		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	54,229,188
1 固定資産	44,787,268
(1) 有形固定資産	42,056,890
(2) 無形固定資産	11,107
(3) 投資その他の資産	2,719,271
2 流動資産	9,441,920
(1) 現金及び預金	2,101,589
(2) 未収金及び未収収益	7,198,261
(3) 貸倒引当金()	27,337
(4) 貯蔵品	129,147
3 繰延資産	-
負債合計	65,446,655
1 固定負債	44,879,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,964,827
(2) その他の企業債	150,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,134,291
(6) 引当金	11,604,831
(7) 一ス債務	25,482
2 流動負債	15,263,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,753,124
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,379,215
(6) リ一ス債務	16,275
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,839,045
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,304,182
(1) 長期前受金	37,203,153
(2) 長期前受金収益化累計額()	31,898,971
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-11,217,467
1 資本金	24,193,384
2 剰余金	-35,410,851
(1) 資本剰余金	79,438
(2) 利益剰余金	-35,490,289
負債・資本合計	54,229,188
不良債務	2,067,998
実質資金不足額	2,067,998
資本不足額()	11,217,467
資本不足額(繰延収益控除後)()	5,913,285
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	995,580	992,901
資本勘定繰入	165,158	165,158
計	1,160,738	1,158,059

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	2,067,998	6.4
令和3年度	3,147,882	10.0
令和2年度	4,337,838	14.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	110.3
健全化法上の資金不足額(千円)	2,067,999
健全化法上の資金不足比率(%)	6.4
地財法上の資金不足額(千円)	2,217,999
地財法上の資金不足比率(%)	6.8

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名					
病 院 名					
こころの医療センター					
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	精神科病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	15,909 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	3	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	精神病院		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	214	86.2	90.7	93.9
感染症	-	-	-	-
計	214	86.2	90.7	93.9
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)		1,068,027
決算規模(千円)		701,825,691
標準財政規模(千円)		330,051,143
財政力指数		0.35964
経常収支比率(%)		94.4
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	217.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,061,348			
1 経常収益	3,058,227			
(1) 医業収益	1,960,314			
(うち修正医業収益)	1,934,568			
入院収益	1,637,958			
外来収益	282,885			
診療収入計	1,920,843			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	39,471			
(うち他会計負担金)	25,746			
(2) 医業外収益	1,097,913			
(うち国・都道府県補助金)	64,365			
(うち他会計補助・負担金)	865,666			
(うち長期前受金戻入)	164,854			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	3,121			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,235,168			
2 経常費用	3,233,301			
(1) 医業費用	3,115,922			
職員給与費	2,331,722	118.9	59.4	105.1
材料費	218,813	11.2	26.1	9.8
(うち薬品費)	133,989	6.8	14.0	6.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	27,547	1.4	11.8	1.6
減価償却費	236,705	12.1	8.7	12.8
経費	309,741	15.8	22.1	35.3
(うち委託料)	97,814	5.0	11.7	17.0
研究研修費	18,184			
資産減耗費	757			
(2) 医業外費用	117,379			
(うち支払利息)	45,553	2.3	1.0	2.4
(3) 特別損失	1,867			
損益				
経常				
純損益	-175,074			
純損益	-173,820			
累積欠損金	3,331,920			
経常収支比率	94.6		103.3	101.8
医業収支比率	62.9		85.5	61.1
修正医業収支比率	62.1		82.8	58.7
他会計繰入金対経常収益比率	29.1		11.1	32.9
他会計繰入金対医業収益比率	45.5		14.1	57.0
他会計繰入金対総収益比率	29.1		11.0	32.7
実質収益対経常費用比率	67.0		91.9	68.3

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	54,229,188
1 固定資産	44,787,268
(1) 有形固定資産	42,056,890
(2) 無形固定資産	11,107
(3) 投資その他の資産	2,719,271
2 流動資産	9,441,920
(1) 現金及び預金	2,101,589
(2) 未収金及び未収収益	7,198,261
(3) 貸倒引当金()	27,337
(4) 貯蔵品	129,147
3 繰延資産	-
負債合計	65,446,655
1 固定負債	44,879,431
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	31,964,827
(2) その他の企業債	150,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,134,291
(6) 引当金	11,604,831
(7) 一ス債務	25,482
2 流動負債	15,263,042
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,753,124
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	1,379,215
(6) リ一ス債務	16,275
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,839,045
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	5,304,182
(1) 長期前受金	37,203,153
(2) 長期前受金収益化累計額()	31,898,971
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-11,217,467
1 資本金	24,193,384
2 剰余金	-35,410,851
(1) 資本金剰余金	79,438
(2) 利益剰余金	-35,490,289
負債・資本合計	54,229,188
不良債務	2,067,998
実質資金不足額	2,067,998
資本不足額()	11,217,467
資本不足額(繰延収益控除後)()	5,913,285
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	895,536	891,412
資本勘定繰入	97,139	97,139
計	992,675	988,551

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	2,067,998	6.4
令和3年度	3,147,882	10.0
令和2年度	4,337,838	14.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	110.3
健全化法上の資金不足額(千円)	2,067,999
健全化法上の資金不足比率(%)	6.4
地財法上の資金不足額(千円)	2,217,999
地財法上の資金不足比率(%)	6.8

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山形県	
市町村・組合名			
病院名		旧日本海病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (％・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	1,068,027	
決算規模(千円)	701,825,691	
標準財政規模(千円)	330,051,143	
財政力指数	0.35964	
経常収支比率(%)	94.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	実質公債費比率(%)	12.3
	将来負担比率(%)	217.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	26,364			
1 経常収益	26,364			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	26,364			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	17,576			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	26,364			
2 経常費用	26,364			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	57.2
材料費	-	-	26.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.7	8.0
経費	-	-	22.1	19.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	26,364			
(うち支払利息)	26,364	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	103.2
医業収支比率	-		85.5	88.6
修正医業収支比率	-		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	66.7		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	66.7		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	33.3		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	17,576	17,576
資本勘定繰入	476,651	476,651
計	494,227	494,227

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	2,067,998	6.4
令和3年度	3,147,882	10.0
令和2年度	4,337,838	14.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	110.3
健全化法上の資金不足額(千円)	2,067,999
健全化法上の資金不足比率(%)	6.4
地財法上の資金不足額(千円)	2,217,999
地財法上の資金不足比率(%)	6.8

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山形県	
市町村・組合名	山形市		
病院名	市立病院済生館		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ト透未訓カ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	41,950 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が 災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	528	72.7	72.5	68.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	528	72.7	72.5	68.0
平均在院日数(一般病床のみ)		12.4	11.6	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	247,590	
決算規模(千円)	116,397,300	
標準財政規模(千円)	53,644,763	
財政力指数	0.76	
経常収支比率(%)	90.8	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.6
	将来負担比率(%)	97.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,773,578			
1 経常収益	13,773,578			
(1) 医業収益	11,823,584			
(うち修正医業収益)	11,459,264			
入院収益	8,410,232			
外来収益	2,880,097			
診療収入計	11,290,329			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	533,255			
(うち他会計負担金)	364,320			
(2) 医業外収益	1,949,994			
(うち国・都道府県補助金)	1,096,958			
(うち他会計補助・負担金)	656,570			
(うち長期前受金戻入)	89,429			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,860,855			
2 経常費用	12,846,045			
(1) 医業費用	12,684,221			
職員給与費	6,946,670	58.8	59.4	52.8
材料費	2,667,290	22.6	26.1	31.5
(うち薬品費)	1,297,925	11.0	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,369,365	11.6	11.8	13.9
減価償却費	698,861	5.9	8.7	7.7
経費	2,303,998	19.5	22.1	18.0
(うち委託料)	1,121,502	9.5	11.7	10.7
研究研修費	47,939			
資産減耗費	19,463			
(2) 医業外費用	161,824			
(うち支払利息)	15,214	0.1	1.0	0.9
(3) 特別損失	14,810			
損益	927,533			
純損益	912,723			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.2		103.3	102.8
医業収支比率	93.2		85.5	90.3
修正医業収支比率	90.3		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	7.4		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	8.6		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	7.4		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	99.3		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	20,149,185
1 固定資産	11,297,175
(1) 有形固定資産	9,674,599
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	1,622,576
2 流動資産	8,852,010
(1) 現金及び預金	6,849,503
(2) 未収金及び未収収益	1,973,190
(3) 貸倒引当金()	25,163
(4) 貯蔵品	50,987
3 繰延資産	-
負債合計	5,848,308
1 固定負債	3,242,495
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	719,945
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,318,186
(7) 一ス債務	204,364
2 流動負債	1,843,794
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	308,657
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	391,846
(6) リ一ス債務	57,689
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,029,747
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	762,019
(1) 長期前受金	2,985,491
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,223,472
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	14,300,877
1 資本金	10,439,546
2 剰余金	3,861,331
(1) 資本剰余金	444,720
(2) 利益剰余金	3,416,611
負債・資本合計	20,149,185
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	938,430	1,020,890
資本勘定繰入	426,496	103,753
計	1,364,926	1,124,643

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	米沢市				
病院名	米沢市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	25,568 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	38	指定病院の状況	救臨 地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	322	71.5	72.8	63.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	322	71.5	72.8	63.7
平均在院日数(一般病床のみ)		13.9	13.6	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	81,252	
決算規模(千円)	42,950,196	
標準財政規模(千円)	20,305,619	
財政力指数	0.58	
経常収支比率(%)	94.0	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	41.2

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,369,160			
1 経常収益	8,369,160			
(1) 医業収益	6,654,459			
(うち修正医業収益)	6,365,816			
入院収益	4,284,893			
外来収益	1,934,984			
診療収入計	6,219,877			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	434,582			
(うち他会計負担金)	288,643			
(2) 医業外収益	1,714,701			
(うち国・都道府県補助金)	912,107			
(うち他会計補助・負担金)	536,679			
(うち長期前受金戻入)	119,057			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,335,198			
2 経常費用	8,321,321			
(1) 医業費用	7,554,064			
職員給与費	4,537,167	68.2	59.4	59.0
材料費	1,369,106	20.6	26.1	25.6
(うち薬品費)	627,877	9.4	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	734,952	11.0	11.8	11.2
減価償却費	272,515	4.1	8.7	8.6
経費	1,349,840	20.3	22.1	21.3
(うち委託料)	747,393	11.2	11.7	11.6
研究研修費	21,590			
資産減耗費	3,846			
(2) 医業外費用	767,257			
(うち支払利息)	11,162	0.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	13,877			
損益	47,839			
純損益	33,962			
累積欠損金	9,713,409			
経常収支比率	100.6		103.3	104.8
医業収支比率	88.1		85.5	87.0
修正医業収支比率	84.3		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	9.9		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	12.4		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	9.9		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	90.7		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,871,829
1 固定資産	7,678,468
(1) 有形固定資産	7,621,868
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	56,600
2 流動資産	2,193,361
(1) 現金及び預金	834,656
(2) 未収金及び未収収益	1,335,481
(3) 貸倒引当金()	3,020
(4) 貯蔵品	25,988
3 繰延資産	-
負債合計	10,016,837
1 固定負債	7,726,421
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,764,887
(2) その他の企業債	500,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,461,534
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	834,160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	151,861
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	248,321
(6) リ一ス債務	16,955
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	347,239
(9) 前受金及び前受収益	179
3 繰延収益	1,456,256
(1) 長期前受金	3,611,747
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,155,491
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-145,008
1 資本金	9,532,177
2 剰余金	-9,677,185
(1) 資本剰余金	36,224
(2) 利益剰余金	-9,713,409
負債・資本合計	9,871,829
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	145,008
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	895,911	825,322
資本勘定繰入	99,308	99,308
計	995,219	924,630

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	146.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	鶴岡市				
病院名	荘内病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	39,822 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨 災地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	521	70.0	69.2	68.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	521	70.0	69.2	68.4
平均在院日数(一般病床のみ)		13.2	13.1	13.6

設立団体の状況		
人口(人)	122,347	
決算規模(千円)	75,760,993	
標準財政規模(千円)	39,939,891	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	40.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	13,759,042			
1 経常収益	13,544,086			
(1) 医業収益	10,997,475			
(うち修正医業収益)	10,775,026			
入院収益	7,571,779			
外来収益	2,847,657			
診療収入計	10,419,436			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	578,039			
(うち他会計負担金)	222,449			
(2) 医業外収益	2,546,611			
(うち国・都道府県補助金)	1,185,796			
(うち他会計補助・負担金)	851,876			
(うち長期前受金戻入)	425,433			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	214,956			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	12,990,450			
2 経常費用	12,990,450			
(1) 医業費用	12,167,514			
職員給与費	6,533,707	59.4	59.4	52.8
材料費	2,372,174	21.6	26.1	31.5
(うち薬品費)	1,141,112	10.4	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,231,062	11.2	11.8	13.9
減価償却費	668,682	6.1	8.7	7.7
経費	2,321,335	21.1	22.1	18.0
(うち委託料)	1,229,706	11.2	11.7	10.7
研究研修費	211,019			
資産減耗費	60,597			
(2) 医業外費用	822,936			
(うち支払利息)	144,365	1.3	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	553,636			
純損益	768,592			
累積欠損金	10,400,764			
経常収支比率	104.3		103.3	102.8
医業収支比率	90.4		85.5	90.3
修正医業収支比率	88.6		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	9.8		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	7.8		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	96.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,180,394
1 固定資産	13,455,338
(1) 有形固定資産	13,292,860
(2) 無形固定資産	2,346
(3) 投資その他の資産	160,132
2 流動資産	4,725,056
(1) 現金及び預金	2,243,995
(2) 未収金及び未収収益	2,321,870
(3) 貸倒引当金()	84,521
(4) 貯蔵品	243,712
3 繰延資産	-
負債合計	17,471,976
1 固定負債	13,054,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,828,393
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,224,071
(7) 一ス債務	1,746
2 流動負債	3,109,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,487,112
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	447,249
(6) リ一ス債務	911
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,121,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,308,507
(1) 長期前受金	8,890,278
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,581,771
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	708,418
1 資本金	10,803,101
2 剰余金	-10,094,683
(1) 資本剰余金	814,202
(2) 利益剰余金	-10,908,885
負債・資本合計	18,180,394
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,093,025	1,074,325
資本勘定繰入	847,022	859,607
計	1,940,047	1,933,932

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	89.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名
			山形県
市町村・組合名	鶴岡市		
病院名	湯田川温泉リハビリテーション病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	6,875 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	3	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	25:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(代行制)
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	120	79.4	78.8	83.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	120	79.4	78.8	83.0
平均在院日数(一般病床のみ)				
		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	122,347	
決算規模(千円)	75,760,993	
標準財政規模(千円)	39,939,891	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	94.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.7
	将来負担比率(%)	40.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,332,213			
1 経常収益	1,332,213			
(1) 医業収益	1,252,344			
(うち修正医業収益)	1,252,344			
入院収益	1,139,529			
外来収益	98,863			
診療収入計	1,238,392			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	13,952			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	79,869			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	13,709			
(うち長期前受金戻入)	63,847			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,332,966			
2 経常費用	1,332,966			
(1) 医業費用	1,294,669			
職員給与費	5,689	0.5	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	63,810	5.1	8.7	10.2
経費	1,225,071	97.8	22.1	28.8
(うち委託料)	1,222,928	97.7	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	99			
(2) 医業外費用	38,297			
(うち支払利息)	4,364	0.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	99.9		103.3	104.5
医業収支比率	96.7		85.5	80.1
修正医業収支比率	96.7		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	1.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	1.1		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	1.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	98.9		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	18,180,394
1 固定資産	13,455,338
(1) 有形固定資産	13,292,860
(2) 無形固定資産	2,346
(3) 投資その他の資産	160,132
2 流動資産	4,725,056
(1) 現金及び預金	2,243,995
(2) 未収金及び未収収益	2,321,870
(3) 貸倒引当金()	84,521
(4) 貯蔵品	243,712
3 繰延資産	-
負債合計	17,471,976
1 固定負債	13,054,210
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	10,828,393
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,224,071
(7) 一ス債務	1,746
2 流動負債	3,109,259
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,487,112
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	447,249
(6) リ一ス債務	911
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,121,287
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,308,507
(1) 長期前受金	8,890,278
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,581,771
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	708,418
1 資本	10,803,101
2 剰余金	-10,094,683
(1) 資本剰余金	814,202
(2) 利益剰余金	-10,908,885
負債・資本合計	18,180,394
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	12,179	13,709
資本勘定繰入	55,057	106,027
計	67,236	119,736

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	89.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山形県	
市町村・組合名	酒田市		
病院名	八幡病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	100,273	
決算規模(千円)	60,128,141	
標準財政規模(千円)	29,316,484	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	98.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.0
	将来負担比率(%)	16.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,232			
1 経常収益	2,232			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	2,232			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	2,232			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,232			
2 経常費用	2,232			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	87.7
材料費	-	-	26.1	13.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	5.9
減価償却費	-	-	8.7	12.7
経費	-	-	22.1	45.1
(うち委託料)	-	-	11.7	21.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	2,232			
(うち支払利息)	2,232	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	101.7
医業収支比率	-		85.5	62.5
修正医業収支比率	-		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	100.0		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	100.0		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	-		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,116	2,232
資本勘定繰入	4,472	8,943
計	5,588	11,175

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	寒河江市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	8,569 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	6	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	56	72.0	82.0	81.0
療養	42	95.3	95.9	94.9
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	82.0	88.0	86.9
平均在院日数(一般病床のみ)		21.0	17.9	17.5

設立団体の状況		
人口(人)	40,189	
決算規模(千円)	26,089,986	
標準財政規模(千円)	10,529,750	
財政力指数	0.53	
経常収支比率(%)	83.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,030,018			
1 経常収益	2,030,018			
(1) 医業収益	1,567,796			
(うち修正医業収益)	1,449,296			
入院収益	1,012,877			
外来収益	419,755			
診療収入計	1,432,632			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	135,164			
(うち他会計負担金)	118,500			
(2) 医業外収益	462,222			
(うち国・都道府県補助金)	143,812			
(うち他会計補助・負担金)	296,100			
(うち長期前受金戻入)	16,597			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,991,364			
2 経常費用	1,991,364			
(1) 医業費用	1,931,953			
職員給与費	1,165,896	74.4	59.4	76.5
材料費	179,341	11.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	54,195	3.5	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	124,233	7.9	11.8	6.4
減価償却費	106,517	6.8	8.7	11.5
経費	476,807	30.4	22.1	32.6
(うち委託料)	221,345	14.1	11.7	14.8
研究研修費	3,298			
資産減耗費	94			
(2) 医業外費用	59,411			
(うち支払利息)	140	-	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	38,654			
純損益	38,654			
累積欠損金	348			
経常収支比率	101.9		103.3	101.5
医業収支比率	81.2		85.5	73.2
修正医業収支比率	75.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.4		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	26.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	20.4		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	81.1		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,690,650
1 固定資産	1,199,509
(1) 有形固定資産	1,179,204
(2) 無形固定資産	51
(3) 投資その他の資産	20,254
2 流動資産	491,141
(1) 現金及び預金	257,534
(2) 未収金及び未収収益	228,575
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	5,032
3 繰延資産	-
負債合計	570,435
1 固定負債	259,105
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	249,675
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	9,430
2 流動負債	229,226
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	76,232
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	80,800
(6) リース債務	4,920
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	67,274
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	82,104
(1) 長期前受金	258,990
(2) 長期前受金収益化累計額()	176,886
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,120,215
1 資本金	1,082,503
2 剰余金	37,712
(1) 資本剰余金	38,060
(2) 利益剰余金	-348
負債・資本合計	1,690,650
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	414,600	414,600
資本勘定繰入	45,400	45,400
計	460,000	460,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	天童市				
病院名	天童市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	7,683 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	54	84.9	89.9	84.2
療養	30	88.9	94.8	92.5
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	84	86.3	91.7	87.2
平均在院日数(一般病床のみ)		24.0	20.3	21.8

設立団体の状況		
人口(人)	62,140	
決算規模(千円)	30,423,006	
標準財政規模(千円)	14,335,804	
財政力指数	0.68	
経常収支比率(%)	88.7	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.8
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,036,814			
1 経常収益	2,036,814			
(1) 医業収益	1,601,879			
(うち修正医業収益)	1,539,681			
入院収益	778,521			
外来収益	556,173			
診療収入計	1,334,694			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	267,185			
(うち他会計負担金)	62,198			
(2) 医業外収益	434,935			
(うち国・都道府県補助金)	99,001			
(うち他会計補助・負担金)	200,841			
(うち長期前受金戻入)	133,512			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,661,015			
2 経常費用	1,661,015			
(1) 医業費用	1,562,250			
職員給与費	768,244	48.0	59.4	76.5
材料費	195,764	12.2	26.1	14.9
(うち薬品費)	135,880	8.5	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	58,969	3.7	11.8	6.4
減価償却費	129,048	8.1	8.7	11.5
経費	463,872	29.0	22.1	32.6
(うち委託料)	204,453	12.8	11.7	14.8
研究研修費	830			
資産減耗費	4,492			
(2) 医業外費用	98,765			
(うち支払利息)	41,964	2.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	375,799			
純損益	375,799			
累積欠損金	-			
経常収支比率	122.6		103.3	101.5
医業収支比率	102.5		85.5	73.2
修正医業収支比率	98.6		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	12.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	16.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	12.9		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	106.8		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,419,176
1 固定資産	1,935,750
(1) 有形固定資産	1,935,750
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	1,483,426
(1) 現金及び預金	1,225,393
(2) 未収金及び未収収益	255,027
(3) 貸倒引当金()	6,008
(4) 貯蔵品	9,014
3 繰延資産	-
負債合計	2,431,933
1 固定負債	2,016,073
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,979,367
(2) その他の企業債	2,558
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	34,148
2 流動負債	336,540
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	170,910
(2) その他の企業債	4,328
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	41,716
(6) リ一ス債務	10,999
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	100,164
(9) 前受金及び前受収益	8,423
3 繰延収益	79,320
(1) 長期前受金	1,244,760
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,165,440
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	987,243
1 資本金	11,147
2 剰余金	976,096
(1) 資本金剰余金	245,033
(2) 利益剰余金	731,063
負債・資本合計	3,419,176
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	211,836	263,039
資本勘定繰入	94,739	189,478
計	306,575	452,517

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	西川町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	4,439 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	4	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	43	31.9	32.4	40.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	43	31.9	32.4	40.8
平均在院日数(一般病床のみ)		14.6	13.3	16.0

設立団体の状況		
人口(人)	4,956	
決算規模(千円)	5,997,773	
標準財政規模(千円)	3,444,491	
財政力指数	0.22	
経常収支比率(%)	89.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.0
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	733,207			
1 経常収益	733,207			
(1) 医業収益	409,273			
(うち修正医業収益)	360,804			
入院収益	137,083			
外来収益	150,719			
診療収入計	287,802			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	121,471			
(うち他会計負担金)	48,469			
(2) 医業外収益	323,934			
(うち国・都道府県補助金)	75,820			
(うち他会計補助・負担金)	224,651			
(うち長期前受金戻入)	14,119			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	717,405			
2 経常費用	717,405			
(1) 医業費用	700,936			
職員給与費	416,861	101.9	59.4	87.7
材料費	51,493	12.6	26.1	13.6
(うち薬品費)	16,195	4.0	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	30,803	7.5	11.8	5.9
減価償却費	60,992	14.9	8.7	12.7
経費	168,799	41.2	22.1	45.1
(うち委託料)	61,894	15.1	11.7	21.3
研究研修費	296			
資産減耗費	2,495			
(2) 医業外費用	16,469			
(うち支払利息)	1,498	0.4	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
損益	15,802			
純損益	15,802			
累積欠損金	44,741			
経常収支比率	102.2		103.3	101.7
医業収支比率	58.4		85.5	62.5
修正医業収支比率	51.5		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	37.3		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	66.7		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	37.3		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	64.1		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,044,464
1 固定資産	608,400
(1) 有形固定資産	598,761
(2) 無形固定資産	249
(3) 投資その他の資産	9,390
2 流動資産	436,064
(1) 現金及び預金	72,357
(2) 未収金及び未収収益	358,789
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,918
3 繰延資産	-
負債合計	157,550
1 固定負債	30,353
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	30,353
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	78,764
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,259
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	23,600
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	40,537
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	48,433
(1) 長期前受金	201,308
(2) 長期前受金収益化累計額()	152,875
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	886,914
1 資本金	930,191
2 剰余金	-43,277
(1) 資本剰余金	1,325
(2) 利益剰余金	-44,602
負債・資本合計	1,044,464
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	273,120	273,120
資本勘定繰入	21,000	21,000
計	294,120	294,120

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	10.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)			都道府県名 山形県
市町村・組合名	朝日町		
病院名	町立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当
建物面積	4,017 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	4	指定病院の状況	救 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	39.5	35.1	39.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	39.5	35.1	39.0
平均在院日数(一般病床のみ)		18.3	18.2	16.3

設立団体の状況		
人口(人)	6,366	
決算規模(千円)	6,612,525	
標準財政規模(千円)	3,452,767	
財政力指数	0.19	
経常収支比率(%)	99.2	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	7.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	811,623			
1 経常収益	811,529			
(1) 医業収益	489,888			
(うち修正医業収益)	451,897			
入院収益	216,574			
外来収益	191,865			
診療収入計	408,439			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	81,449			
(うち他会計負担金)	37,991			
(2) 医業外収益	321,641			
(うち国・都道府県補助金)	40,304			
(うち他会計補助・負担金)	260,395			
(うち長期前受金戻入)	13,513			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	94			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	795,686			
2 経常費用	793,017			
(1) 医業費用	773,429			
職員給与費	469,243	95.8	59.4	76.5
材料費	57,257	11.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	23,757	4.8	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	26,820	5.5	11.8	6.4
減価償却費	63,269	12.9	8.7	11.5
経費	182,444	37.2	22.1	32.6
(うち委託料)	64,838	13.2	11.7	14.8
研究研修費	1,187			
資産減耗費	29			
(2) 医業外費用	19,588			
(うち支払利息)	4,814	1.0	1.0	1.3
(3) 特別損失	2,669			
経常損益	18,512			
純損益	15,937			
累積欠損金	511,006			
経常収支比率	102.3		103.3	101.5
医業収支比率	63.3		85.5	73.2
修正医業収支比率	58.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	36.8		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	60.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	36.8		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	64.7		91.9	78.8

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,037,660
1 固定資産	598,091
(1) 有形固定資産	597,562
(2) 無形固定資産	529
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	439,569
(1) 現金及び預金	314,948
(2) 未収金及び未収収益	120,529
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	4,092
3 繰延資産	-
負債合計	458,322
1 固定負債	311,602
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	311,602
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	37,925
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	28,700
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	9,225
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	108,795
(1) 長期前受金	338,573
(2) 長期前受金収益化累計額()	229,778
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	579,338
1 資本金	912,648
2 剰余金	-333,310
(1) 資本剰余金	250
(2) 利益剰余金	-333,560
負債・資本合計	1,037,660
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	269,028	298,386
資本勘定繰入	33,328	7,833
計	302,356	306,219

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	104.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	最上町				
病院名	町立最上病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,406 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	71.1	80.0	89.5
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	71.1	80.0	89.5
平均在院日数(一般病床のみ)		40.6	44.5	49.0

設立団体の状況		
人口(人)	8,080	
決算規模(千円)	7,085,502	
標準財政規模(千円)	4,114,248	
財政力指数	0.23	
経常収支比率(%)	97.4	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	9.6
	将来負担比率(%)	27.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,118,862			
1 経常収益	1,118,862			
(1) 医業収益	664,530			
(うち修正医業収益)	626,236			
入院収益	336,603			
外来収益	197,884			
診療収入計	534,487			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	130,043			
(うち他会計負担金)	38,294			
(2) 医業外収益	454,332			
(うち国・都道府県補助金)	22,118			
(うち他会計補助・負担金)	378,030			
(うち長期前受金戻入)	30,204			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,078,541			
2 経常費用	1,078,541			
(1) 医業費用	1,061,120			
職員給与費	561,892	84.6	59.4	76.5
材料費	83,655	12.6	26.1	14.9
(うち薬品費)	35,278	5.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	47,479	7.1	11.8	6.4
減価償却費	83,880	12.6	8.7	11.5
経費	331,010	49.8	22.1	32.6
(うち委託料)	109,986	16.6	11.7	14.8
研究研修費	683			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	17,421			
(うち支払利息)	7,358	1.1	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	40,321			
純損益	40,321			
累積欠損金	-			
経常収支比率	103.7		103.3	101.5
医業収支比率	62.6		85.5	73.2
修正医業収支比率	59.0		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	37.2		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	62.6		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	37.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	65.1		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,624,989
1 固定資産	1,454,594
(1) 有形固定資産	1,454,086
(2) 無形固定資産	508
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	170,395
(1) 現金及び預金	57,330
(2) 未収金及び未収収益	109,393
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	3,672
3 繰延資産	-
負債合計	647,796
1 固定負債	232,657
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	232,657
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的債務	-
2 流動負債	236,883
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	163,159
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	24,720
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	45,802
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	178,256
(1) 長期前受金	506,520
(2) 長期前受金収益化累計額()	328,264
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	977,193
1 資本金	936,770
2 剰余金	40,423
(1) 資本剰余金	18,925
(2) 利益剰余金	21,498
負債・資本合計	1,624,989
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	409,729	416,324
資本勘定繰入	96,265	99,776
計	505,994	516,100

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	真室川町				
病院名	町立真室川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	4,563 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	55	75.1	74.8	77.7
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	55	75.1	74.8	77.7
平均在院日数(一般病床のみ)		23.1	21.2	22.4

設立団体の状況		
人口(人)	7,203	
決算規模(千円)	6,648,819	
標準財政規模(千円)	3,853,268	
財政力指数	0.21	
経常収支比率(%)	88.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	5.4
	将来負担比率(%)	14.8

損益計算書(千円・%)					
区分	決算額	費用	全国平均	類似平均	
総収益	1,108,087				
1 経常収益	1,108,087				
(1) 医業収益	742,145				
(うち修正医業収益)	705,185				
入院収益	383,517				
外来収益	274,385				
診療収入計	657,902				
繰延運営権対価収益	-				
運営権者更新投資収益	-				
その他医業収益	84,243				
(うち他会計負担金)	36,960				
(2) 医業外収益	365,942				
(うち国・都道府県補助金)	60,464				
(うち他会計補助・負担金)	227,840				
(うち長期前受金戻入)	67,025				
(うち資本費繰入収益)	-				
(3) 特別利益	-				
(うち他会計繰入金)	-				
総費用	1,106,822				
2 経常費用	1,106,367				
(1) 医業費用	1,063,372				
職員給与費	588,421	79.3	59.4	76.5	
材料費	99,948	13.5	26.1	14.9	
(うち薬品費)	66,615	9.0	14.0	7.9	
(うち薬品費以外の医薬材料費)	33,333	4.5	11.8	6.4	
減価償却費	87,392	11.8	8.7	11.5	
経費	279,627	37.7	22.1	32.6	
(うち委託料)	167,100	22.5	11.7	14.8	
研究研修費	1,965				
資産減耗費	6,019				
(2) 医業外費用	42,995				
(うち支払利息)	5,764	0.8	1.0	1.3	
(3) 特別損失	455				
経常損益	1,720				
純損益	1,265				
累積欠損金	-				
経常収支比率	100.2		103.3	101.5	
医業収支比率	69.8		85.5	73.2	
修正医業収支比率	66.3		82.8	69.2	
他会計繰入金対経常収益比率	23.9		11.1	22.3	
他会計繰入金対医業収益比率	35.7		14.1	33.0	
他会計繰入金対総収益比率	23.9		11.0	22.3	
実質収益対経常費用比率	76.2		91.9	78.8	

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)		
区分	決算額	
資産合計	2,356,026	
1 固定資産	2,012,366	
(1) 有形固定資産	2,012,366	
(2) 無形固定資産	-	
(3) 投資その他の資産	-	
2 流動資産	343,660	
(1) 現金及び預金	138,448	
(2) 未収金及び未収収益	178,799	
(3) 貸倒引当金()	-	
(4) 貯蔵品	26,413	
3 繰延資産	-	
負債合計	777,702	
1 固定負債	460,831	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	445,516	
(2) その他の企業債	-	
(3) 再建債(特例債含む)	-	
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(5) その他の長期借入金	-	
(6) 引当金	-	
(7) 一時的債務	15,315	
2 流動負債	178,085	
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	78,221	
(2) その他の企業債	-	
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-	
(4) その他の長期借入金	-	
(5) 引当金	39,494	
(6) リース債務	4,712	
(7) 一時借入金	-	
(8) 未払金及び未払費用	50,592	
(9) 前受金及び前受収益	-	
3 繰延収益	138,786	
(1) 長期前受金	338,603	
(2) 長期前受金収益化累計額()	199,817	
(3) 繰延運営権対価	-	
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-	
(5) 運営権者更新投資	-	
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-	
資本合計	1,578,324	
1 資本金	1,494,929	
2 剰余金	83,395	
(1) 資本剰余金	-	
(2) 利益剰余金	83,395	
負債・資本合計	2,356,026	
不良債務	-	
実質資金不足額	-	
資本不足額()	-	
資本不足額(繰延収益控除後)()	-	
備考		

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	257,170	264,800
資本勘定繰入	47,109	46,200
計	304,279	311,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	高畠町				
病院名	公立高畠病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	9,305 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	9	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	89	88.3	91.7	92.1
療養	41	83.1	83.9	87.1
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	130	86.7	89.3	90.5
平均在院日数(一般病床のみ)		34.8	9.5	9.8

設立団体の状況		
人口(人)	22,463	
決算規模(千円)	11,996,936	
標準財政規模(千円)	6,732,422	
財政力指数	0.40	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	77.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,754,660			
1 経常収益	2,752,295			
(1) 医業収益	2,309,764			
(うち修正医業収益)	2,190,254			
入院収益	1,327,585			
外来収益	604,748			
診療収入計	1,932,333			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	377,431			
(うち他会計負担金)	119,510			
(2) 医業外収益	442,531			
(うち国・都道府県補助金)	197,196			
(うち他会計補助・負担金)	194,331			
(うち長期前受金戻入)	48,279			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,365			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,594,269			
2 経常費用	2,580,939			
(1) 医業費用	2,488,008			
職員給与費	1,612,312	69.8	59.4	67.0
材料費	174,354	7.5	26.1	18.2
(うち薬品費)	94,024	4.1	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	75,845	3.3	11.8	9.4
減価償却費	152,803	6.6	8.7	10.2
経費	543,886	23.5	22.1	28.8
(うち委託料)	282,887	12.2	11.7	13.2
研究研修費	3,293			
資産減耗費	1,360			
(2) 医業外費用	92,931			
(うち支払利息)	30,942	1.3	1.0	1.1
(3) 特別損失	13,330			
損益	171,356			
純損益	160,391			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.6		103.3	104.5
医業収支比率	92.8		85.5	80.1
修正医業収支比率	88.0		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	11.4		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	13.6		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	11.4		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	94.5		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,132,778
1 固定資産	2,283,707
(1) 有形固定資産	2,264,575
(2) 無形固定資産	842
(3) 投資その他の資産	18,290
2 流動資産	849,071
(1) 現金及び預金	499,845
(2) 未収金及び未収収益	343,723
(3) 貸倒引当金()	5,000
(4) 貯蔵品	10,054
3 繰延資産	-
負債合計	1,563,017
1 固定負債	780,884
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	780,884
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	528,343
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	345,764
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	103,200
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	66,794
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	253,790
(1) 長期前受金	549,379
(2) 長期前受金収益化累計額()	295,589
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,569,761
1 資本金	857,780
2 剰余金	711,981
(1) 資本金剰余金	3,620
(2) 利益剰余金	708,361
負債・資本合計	3,132,778
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	306,836	313,841
資本勘定繰入	216,392	168,786
計	523,228	482,627

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	小国町				
病院名	町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,613 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	8	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	45	47.4	54.6	43.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	45	47.4	54.6	43.3
平均在院日数(一般病床のみ)		22.7	23.1	21.1

設立団体の状況		
人口(人)	7,107	
決算規模(千円)	7,339,428	
標準財政規模(千円)	4,420,101	
財政力指数	0.26	
経常収支比率(%)	86.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	12.5
	将来負担比率(%)	60.3

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,080,329			
1 経常収益	1,080,329			
(1) 医業収益	626,775			
(うち修正医業収益)	540,486			
入院収益	236,709			
外来収益	243,044			
診療収入計	479,753			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	147,022			
(うち他会計負担金)	86,289			
(2) 医業外収益	453,554			
(うち国・都道府県補助金)	44,596			
(うち他会計補助・負担金)	364,461			
(うち長期前受金戻入)	37,219			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,036,499			
2 経常費用	1,035,356			
(1) 医業費用	990,082			
職員給与費	461,699	73.7	59.4	87.7
材料費	71,968	11.5	26.1	13.6
(うち薬品費)	21,864	3.5	14.0	7.0
(うち薬品費以外の医薬材料費)	48,789	7.8	11.8	5.9
減価償却費	80,159	12.8	8.7	12.7
経費	371,632	59.3	22.1	45.1
(うち委託料)	143,479	22.9	11.7	21.3
研究研修費	1,005			
資産減耗費	3,619			
(2) 医業外費用	45,274			
(うち支払利息)	12,350	2.0	1.0	1.0
(3) 特別損失	1,143			
経常損益	44,973			
純損益	43,830			
累積欠損金	3,473			
経常収支比率	104.3		103.3	101.7
医業収支比率	63.3		85.5	62.5
修正医業収支比率	54.6		82.8	57.3
他会計繰入金対経常収益比率	41.7		11.1	33.6
他会計繰入金対医業収益比率	71.9		14.1	57.9
他会計繰入金対総収益比率	41.7		11.0	33.5
実質収益対経常費用比率	60.8		91.9	67.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,711,411
1 固定資産	1,351,011
(1) 有形固定資産	1,350,817
(2) 無形固定資産	194
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	360,400
(1) 現金及び預金	268,127
(2) 未収金及び未収収益	84,157
(3) 貸倒引当金()	1,335
(4) 貯蔵品	9,101
3 繰延資産	-
負債合計	1,214,172
1 固定負債	618,987
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	523,847
(2) その他の企業債	82,300
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	12,840
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	202,699
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	87,762
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	31,388
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	78,080
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	392,486
(1) 長期前受金	1,575,068
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,182,582
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	497,239
1 資本金	499,611
2 剰余金	-2,372
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-2,372
負債・資本合計	1,711,411
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	456,134	450,750
資本勘定繰入	55,615	-
計	511,749	450,750

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	0.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	白鷹町				
病院名	白鷹町立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第1種該当		
建物面積	5,363 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	5	指定病院の状況	救		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	60	61.3	65.2	70.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	60	61.3	65.2	70.4
平均在院日数(一般病床のみ)		19.4	17.7	18.2

設立団体の状況		
人口(人)	12,890	
決算規模(千円)	9,853,664	
標準財政規模(千円)	5,168,603	
財政力指数	0.28	
経常収支比率(%)	90.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.7
	将来負担比率(%)	31.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,198,458			
1 経常収益	1,198,458			
(1) 医業収益	784,614			
(うち修正医業収益)	735,709			
入院収益	344,822			
外来収益	262,207			
診療収入計	607,029			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	177,585			
(うち他会計負担金)	48,905			
(2) 医業外収益	413,844			
(うち国・都道府県補助金)	204,972			
(うち他会計補助・負担金)	193,632			
(うち長期前受金戻入)	9,605			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,205,206			
2 経常費用	1,205,206			
(1) 医業費用	1,152,923			
職員給与費	506,020	64.5	59.4	76.5
材料費	120,987	15.4	26.1	14.9
(うち薬品費)	32,463	4.1	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,023	9.7	11.8	6.4
減価償却費	90,808	11.6	8.7	11.5
経費	432,058	55.1	22.1	32.6
(うち委託料)	228,567	29.1	11.7	14.8
研究研修費	587			
資産減耗費	2,463			
(2) 医業外費用	52,283			
(うち支払利息)	12,224	1.6	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-6,748			
純損失	-6,748			
累積欠損金	478,005			
経常収支比率	99.4		103.3	101.5
医業収支比率	68.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	63.8		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	20.2		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	30.9		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	20.2		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	79.3		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	1,984,358
1 固定資産	1,762,519
(1) 有形固定資産	1,756,170
(2) 無形固定資産	419
(3) 投資その他の資産	5,930
2 流動資産	221,839
(1) 現金及び預金	78,892
(2) 未収金及び未収収益	129,534
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	13,043
3 繰延資産	-
負債合計	911,326
1 固定負債	584,827
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	434,827
(2) その他の企業債	150,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(8) リリース債務	-
2 流動負債	212,984
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	117,442
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	33,859
(6) リリース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	61,502
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	113,515
(1) 長期前受金	299,086
(2) 長期前受金収益化累計額()	185,571
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,073,032
1 資本金	1,551,037
2 剰余金	-478,005
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-478,005
負債・資本合計	1,984,358
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	300,000	242,537
資本勘定繰入	68,396	30,000
計	368,396	272,537

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	60.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	23,703
地財法上の資金不足比率(%)	3.0

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山形県	
市町村・組合名	北村山公立病院組合		
病院名	北村山公立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ト透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当
建物面積	23,099 m ²	不採算地区中核病院	非該当
診療科数	19	指定病院の状況	救臨
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	300	68.4	67.7	72.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	300	68.4	67.7	72.6
平均在院日数(一般病床のみ)		18.1	19.9	21.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	5,426,137			
1 経常収益	5,426,137			
(1) 医業収益	4,730,083			
(うち修正医業収益)	4,410,329			
入院収益	2,853,672			
外来収益	1,408,541			
診療収入計	4,262,213			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	467,870			
(うち他会計負担金)	319,754			
(2) 医業外収益	696,054			
(うち国・都道府県補助金)	284,411			
(うち他会計補助・負担金)	368,522			
(うち長期前受金戻入)	18,829			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,545,528			
2 経常費用	5,545,528			
(1) 医業費用	5,288,564			
職員給与費	2,847,072	60.2	59.4	59.0
材料費	797,123	16.9	26.1	25.6
(うち薬品費)	372,532	7.9	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	424,591	9.0	11.8	11.2
減価償却費	287,680	6.1	8.7	8.6
経費	1,338,087	28.3	22.1	21.3
(うち委託料)	704,674	14.9	11.7	11.6
研究研修費	5,644			
資産減耗費	12,958			
(2) 医業外費用	256,964			
(うち支払利息)	2,425	0.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	-119,391			
純損益	-119,391			
累積欠損金	3,907,680			
経常収支比率	97.8		103.3	104.8
医業収支比率	89.4		85.5	87.0
修正医業収支比率	83.4		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	12.7		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	14.6		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	12.7		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	85.4		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,869,590
1 固定資産	3,369,564
(1) 有形固定資産	3,266,202
(2) 無形固定資産	9,338
(3) 投資その他の資産	94,024
2 流動資産	1,500,026
(1) 現金及び預金	676,219
(2) 未収金及び未収収益	792,930
(3) 貸倒引当金()	1,890
(4) 貯蔵品	32,767
3 繰延資産	-
負債合計	2,609,191
1 固定負債	1,648,273
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,097,723
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	510,374
(7) 一時的借入金	40,176
2 流動負債	838,982
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	219,382
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	190,903
(6) リリース債務	28,474
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	372,594
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	121,936
(1) 長期前受金	426,531
(2) 長期前受金収益化累計額()	304,595
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,260,399
1 資本金	6,153,496
2 剰余金	-3,893,097
(1) 資本剰余金	14,583
(2) 利益剰余金	-3,907,680
負債・資本合計	4,869,590
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	677,728	688,276
資本勘定繰入	138,120	141,377
計	815,848	829,653

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	82.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山形県	
市町村・組合名	置賜広域病院企業団		
病院名	公立置賜総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	44,010 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感へ災地
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	446	78.5	77.7	73.4
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	46	77.5	76.2	85.6
感染症	4	-	-	-
計	496	77.8	76.9	73.9
平均在院日数(一般病床のみ)		1.1	10.9	11.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,401,644			
1 経常収益	16,202,370			
(1) 医業収益	13,291,176			
(うち修正医業収益)	13,040,416			
入院収益	8,929,781			
外来収益	3,854,317			
診療収入計	12,784,098			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	507,078			
(うち他会計負担金)	250,760			
(2) 医業外収益	2,911,194			
(うち国・都道府県補助金)	1,021,122			
(うち他会計補助・負担金)	1,114,684			
(うち長期前受金戻入)	663,114			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	199,274			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,178,463			
2 経常費用	15,137,466			
(1) 医業費用	14,358,133			
職員給与費	6,927,559	52.1	59.4	57.2
材料費	3,728,851	28.1	26.1	28.0
(うち薬品費)	1,855,180	14.0	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,858,505	14.0	11.8	12.7
減価償却費	953,997	7.2	8.7	8.0
経費	2,690,360	20.2	22.1	19.0
(うち委託料)	1,098,200	8.3	11.7	10.0
研究研修費	41,415			
資産減耗費	15,951			
(2) 医業外費用	779,333			
(うち支払利息)	154,998	1.2	1.0	1.0
(3) 特別損失	40,997			
損益	1,064,904			
純損益	1,223,181			
累積欠損金	-			
経常収支比率	107.0		103.3	103.2
医業収支比率	92.6		85.5	88.6
修正医業収支比率	90.8		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	8.4		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	10.3		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	8.3		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	98.0		91.9	93.4

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,044,874
1 固定資産	19,466,022
(1) 有形固定資産	19,378,310
(2) 無形固定資産	3,045
(3) 投資その他の資産	84,667
2 流動資産	5,578,852
(1) 現金及び預金	2,625,105
(2) 未収金及び未収収益	2,894,192
(3) 貸倒引当金()	54,075
(4) 貯蔵品	111,272
3 繰延資産	-
負債合計	20,896,252
1 固定負債	14,575,139
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,410,553
(2) その他の企業債	164,586
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	4,011,269
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,993,482
(2) その他の企業債	23,241
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	474,473
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,500,186
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,309,844
(1) 長期前受金	24,851,173
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,541,329
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,148,622
1 資本金	140,272
2 剰余金	4,008,350
(1) 資本剰余金	2,244,936
(2) 利益剰余金	1,763,414
負債・資本合計	25,044,874
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,375,310	1,365,444
資本勘定繰入	898,121	1,300,906
計	2,273,431	2,666,350

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		山形県	
市町村・組合名	置賜広域病院企業団		
病院名	公立置賜長井病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	4,284 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	10	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	85.4	86.3	81.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	85.4	86.3	81.2
平均在院日数(一般病床のみ)		42.8	39.0	42.6

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,613,759			
1 経常収益	1,613,748			
(1) 医業収益	894,237			
(うち修正医業収益)	894,237			
入院収益	421,644			
外来収益	455,643			
診療収入計	877,287			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	16,950			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	719,511			
(うち国・都道府県補助金)	22,655			
(うち他会計補助・負担金)	263,106			
(うち長期前受金戻入)	429,108			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	11			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,582,962			
2 経常費用	1,484,462			
(1) 医業費用	1,432,869			
職員給与費	574,211	64.2	59.4	76.5
材料費	99,162	11.1	26.1	14.9
(うち薬品費)	44,266	5.0	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	52,731	5.9	11.8	6.4
減価償却費	74,798	8.4	8.7	11.5
経費	329,405	36.8	22.1	32.6
(うち委託料)	112,763	12.6	11.7	14.8
研究研修費	709			
資産減耗費	354,584			
(2) 医業外費用	51,593			
(うち支払利息)	19,386	2.2	1.0	1.3
(3) 特別損失	98,500			
損益	129,286			
純損益	30,797			
累積欠損金	137,577			
経常収支比率	108.7		103.3	101.5
医業収支比率	62.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	62.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	16.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	29.4		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	16.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	91.0		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,044,874
1 固定資産	19,466,022
(1) 有形固定資産	19,378,310
(2) 無形固定資産	3,045
(3) 投資その他の資産	84,667
2 流動資産	5,578,852
(1) 現金及び預金	2,625,105
(2) 未収金及び未収収益	2,894,192
(3) 貸倒引当金()	54,075
(4) 貯蔵品	111,272
3 繰延資産	-
負債合計	20,896,252
1 固定負債	14,575,139
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,410,553
(2) その他の企業債	164,586
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,011,269
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,993,482
(2) その他の企業債	23,241
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	474,473
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,500,186
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,309,844
(1) 長期前受金	24,851,173
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,541,329
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,148,622
1 資本金	140,272
2 剰余金	4,008,350
(1) 資本金剰余金	2,244,936
(2) 利益剰余金	1,763,414
負債・資本合計	25,044,874
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	256,381	263,106
資本勘定繰入	82,129	132,614
計	338,510	395,720

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				山形県	
市町村・組合名	置賜広域病院企業団				
病院名	公立置賜南陽病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	3,850 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	10	指定病院の状況			
許可公営企業		看護配置	15:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	50	86.8	90.0	87.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	50	86.8	90.0	87.6
平均在院日数(一般病床のみ)		30.3	33.1	34.1

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,154,000			
1 経常収益	1,153,530			
(1) 医業収益	841,154			
(うち修正医業収益)	841,154			
入院収益	505,648			
外来収益	299,023			
診療収入計	804,671			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	36,483			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	312,376			
(うち国・都道府県補助金)	13,815			
(うち他会計補助・負担金)	160,805			
(うち長期前受金戻入)	136,179			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	470			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,143,660			
2 経常費用	1,056,109			
(1) 医業費用	1,024,643			
職員給与費	539,041	64.1	59.4	76.5
材料費	83,356	9.9	26.1	14.9
(うち薬品費)	30,329	3.6	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	51,375	6.1	11.8	6.4
減価償却費	135,776	16.1	8.7	11.5
経費	264,520	31.4	22.1	32.6
(うち委託料)	90,759	10.8	11.7	14.8
研究研修費	1,482			
資産減耗費	468			
(2) 医業外費用	31,466			
(うち支払利息)	6,226	0.7	1.0	1.3
(3) 特別損失	87,551			
損益	97,421			
純損益	10,340			
累積欠損金	-			
経常収支比率	109.2		103.3	101.5
医業収支比率	82.1		85.5	73.2
修正医業収支比率	82.1		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	13.9		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	19.1		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	13.9		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	94.0		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	25,044,874
1 固定資産	19,466,022
(1) 有形固定資産	19,378,310
(2) 無形固定資産	3,045
(3) 投資その他の資産	84,667
2 流動資産	5,578,852
(1) 現金及び預金	2,625,105
(2) 未収金及び未収収益	2,894,192
(3) 貸倒引当金()	54,075
(4) 貯蔵品	111,272
3 繰延資産	-
負債合計	20,896,252
1 固定負債	14,575,139
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	14,410,553
(2) その他の企業債	164,586
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,011,269
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,993,482
(2) その他の企業債	23,241
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	474,473
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,500,186
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,309,844
(1) 長期前受金	24,851,173
(2) 長期前受金収益化累計額()	22,541,329
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	4,148,622
1 資本金	140,272
2 剰余金	4,008,350
(1) 資本金剰余金	2,244,936
(2) 利益剰余金	1,763,414
負債・資本合計	25,044,874
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	157,694	160,805
資本勘定繰入	30,165	59,000
計	187,859	219,805

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。